



西東京市立ひばりが丘中学校

第2学年

第18号

令和6年7月17日発行

道徳地区公開講座

7月13日の道徳地区公開で、2年生は「いじりといじめ、どう違う？」という教材を使い、日頃の友達との関わり方を考えました。

ワークシートの感想より～

- 「いじりといじめは違うけど、見極めるのが難しく、お互いのことを考えたうえでのいじりは、お互いが楽しめるけど、一方的でやっている側だけが楽しいのはいじめだと思った。」●「僕もいじりを友達に言うてしまうことがある。限度を考え、相手の気持ちを考えることが大切だと思った。」●「いじりもいじっている人がそう思っているだけで、いじられている人はいじめだと思っているかも。」●「いじりといじめは発音が違うだけで、相手をいじることに違いはないと分かった。」●「相手への言動に限らず、価値観を認め合うなど互いを尊重し合う姿勢が大切だと思った。」●自分がいやだと思ったら、すぐに本人に言うか、先生や周りの人などに相談していきたくと思った。●「自分が発した言葉で相手はどう思うのかをしっかり考えて会話をし、相手をけなすよりも褒め合い、笑顔の関係を築いていきたくです」●「周りの気持ちに気付けるようにし、それにともなった行動をできるようにする。」●「自分の言動に責任をもち、お互いに信頼関係を築いていくことが大切だと思った。」

また、3時間目はほっとルームの谷川さんの講演がありました。こどもの人権について、西東京市子ども条約のお話をいただいたあとに、トラブルが起こった時のそれぞれの人権についてグループワークで意見交換をしました。お互いの人権を尊重しながら、相手の気持ちを考えて人と関わりたいですね。谷川さんからは、話し合いの場面が素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。日頃の話し合い活動が活かされていたと思います。



7月17日の総合の時間に夏休みの宿題とともに夏休みのしおりを製本しました。計画的に宿題を終わらせて、楽しい夏休みにしてほしいです。夏休みの宿題は、次号の稜線に掲載します。